

訪問診療における ICT ツールの有用性についての検討

Examination of the usefulness of Information and Communication Technology (ICT) tools in home-visit medical care

○長屋優里菜¹, 横矢隆二², 栗山陽菜¹, 市川清香¹, 野村玲奈¹, 小嶋千栄子³, 岩尾 慧², 服部景太², 藤原 周²⁻³

○Yurina Nagaya¹, Ryuji Yokoya², Hina Kuriyama¹, Sayaka Ichikawa¹, Rena Nomura¹, Chieko Kojima², Satoshi Iwao², Keita Hattori², Shu Fujiwara²⁻³

¹朝日大学医科歯科医療センター 歯科衛生部

²朝日大学医科歯科医療センター 包括支援歯科医療部

³朝日大学歯学部口腔機能修復学講座 歯科補綴学分野

¹Department of Dental Hygiene, Asahi University Medical and Dental Center

²Department of comprehensive Dental Support, Asahi University Medical and Dental Center

³Department of Prosthodontics, Division of Oral Functional Science and Rehabilitation, Asahi University School of Dentistry

【緒言】在宅医療は、多職種間での密な連携が重要であり迅速な情報共有が求められ、ICT (Information and Communication Technology) ツールを使用した連携システムが整備されつつある。しかし、朝日大学医科歯科医療センター（以下、当センター）では、患者情報を電子管理する ICT ツールを導入しておらず、多職種との情報共有に時間を費やしている。そこで、今回我々は試験的に当センターの訪問歯科診療に ICT ツールを導入し、機能の有用性について検討した。

【対象および方法】ICT ツールにはクラウドシステムを利用したメディカル系アプリ「噛むログ（株式会社ヨシダ）」（以下、アプリ）を使用した。当センターの訪問歯科診療に携わる歯科医師および歯科衛生士 10 名を対象とし、アプリ使用后、機能の有用性を問うアンケート調査を実施した。アプリの試用期間は 2022 年 5 月～6 月の 2 か月間とした。尚、本研究は朝日大学倫理審査委員会の承認を得ている（承認番号 34004）。

【結果および考察】「アプリにおいて良かった機能はなにか」の問いに対し、「OHAT の記録」が 10 名中 9 名と高い評価を得た。また、アプリの有用性に関する問いにおいては、「多職種間の連携においても有用である」「リアルタイムな情報共有が実現するため、業務効率化が図られる」との回答が上位を占めた。一方、要望として「通知」「チャット」「前回評価との比較欄」の機能の追加が挙げられ、機能の追加により多職種との円滑なコミュニケーションや情報共有ができ、療養者の異常の早期発見・早期介入にも繋がると考えられる。また、多職種間で運用するにあたり、評価者が同レベルで口腔アセスメントを実施できるよう、評価のキャリブレーションや ICT リテラシー向上の喚起・啓蒙を行う必要性も示唆された。

【結論】訪問歯科診療において、ICT ツールの活用は情報共有のみならず、地域と医療機関が連携して口腔健康管理を推進していくうえで有用であると考えられた。